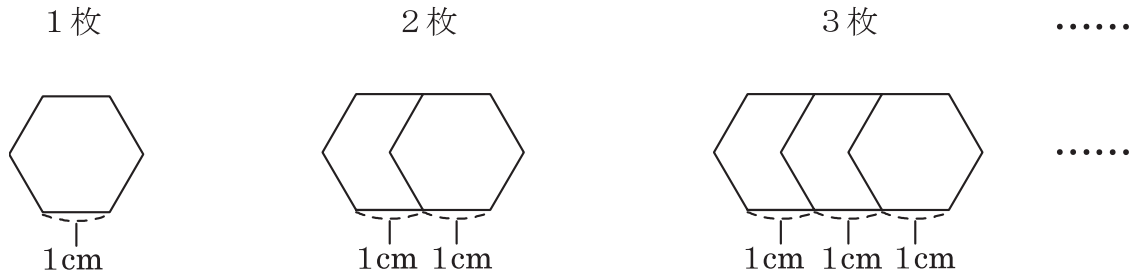


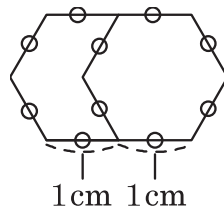
1 下の図1のように、1辺の長さが1cmの正六角形の紙を右に1cmずつずらしながら1枚、2枚、3枚、・・・と重ねていきます。このとき、りえこさんは正六角形の辺のうち、【見えている辺の長さの合計】を調べることにしました。

図1



例えば、図2のように正六角形の紙を2枚重ねたときに「見えている辺」は、○印がついている辺であり、その長さの合計は10cmとなります。

図2



【見えている辺の長さの合計】は10cmです。

次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。


(1) りえこさんは、【見えている辺の長さの合計】を下の表のようにまとめました。**ア**に当てはまる数を書きなさい。

正六角形の紙の枚数 (枚)	1	2	・・・	5	・・・
【見えている辺の長さの合計】 (cm)	6	10	・・・	ア	・・・

(2) りえこさんは正六角形の紙の枚数が n 枚のときの【見えている辺の長さの合計】を次のように考え、 n を使った式で表しました。

【りえこさんの説明】の中の から に適当な式を入れ、完成させなさい。

【りえこさんの説明】

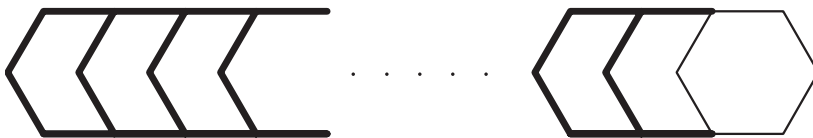
私は図の中の  の形に注目して考えました。


3枚




正六角形の紙を3枚重ねたときの【見えている辺の長さの合計】は、 $4 \times 2 + 6$ という式で求めることができます。

n 枚



n 枚のときも同じように考えると、最後に重ねた一番右の正六角形の辺の長さの合計は 6 cm で、その左には  の形が 個あります。

 の形1つ分の長さは 4 cm なので、その長さの合計は cm です。

したがって正六角形の紙の枚数が n 枚のときの【見えている辺の長さの合計】は と表すことができます。